

扁平上皮癌に対する抗腫瘍剤

総合外科学

准教授

深澤 拓也 *Takuya Fukazawa*

キーワード

肺扁平上皮癌、食道癌、SOX2

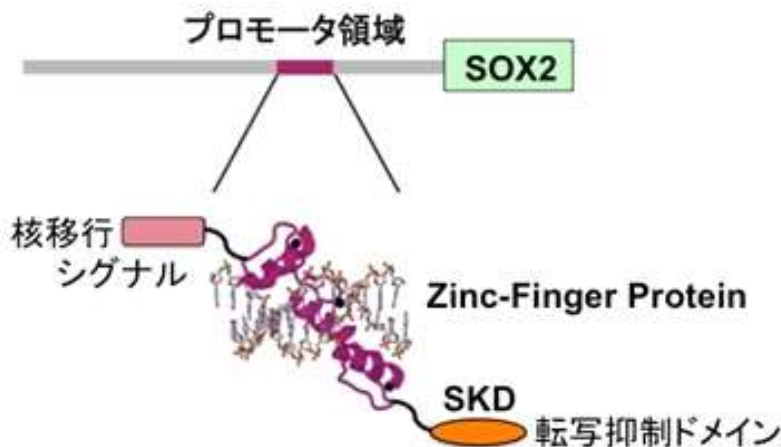


シーズ内容

山中遺伝子の一つであるSOX2 (SRY-box2) は、近年、肺扁平上皮癌、食道癌における系統維持型癌遺伝子であることが明らかとなった転写因子であり、その活性を阻害することにより、当該癌細胞の増殖抑制及び抗腫瘍活性を誘導することが期待される。

我々は、標的遺伝子SOX2の発現をコントロールできる人工転写因子：ATF/SOXを開発した。この人工転写因子は、肺扁平上皮細胞株あるいは食道扁平上皮細胞株においてSOX2プロモーター活性を抑制し、内在性SOX2発現を抑制し、*in vivo*においても強力な抗腫瘍活性を示した。今後、ATF/SOXによる手術不能な進行性肺癌や食道癌に対する新しい治療法が期待できる。

SOX2/ATF シェーマ



想定される産業への応用

進行肺扁平上皮癌患者、食道癌患者に対する、ATF/SOX2発現型リコンビナント・アデノウイルス製剤の内視鏡的局所投与など。

特許出願状況：出願済

【お問い合わせ】

川崎医科大学 産学連携知的財産管理室

Tel:086-462-1111 (内線:26030・26049)

mail: s-renkei@med.kawasaki-m.ac.jp